

## 平成24年度 国際化市民フォーラム in TOKYO

外国人登録者数が約40万人で総人口の3%を占める東京。グローバル化する東京が抱える問題点や課題、国際協力のあり方などを皆さまとともに考え、国際化への理解と認識を深める機会とします。

### 日時・場所

2013年2月23日(土)  
東京ウィメンズプラザ (渋谷区神宮前5-53-67)

### 交通

渋谷駅 徒歩12分  
東京メトロ 銀座線・千代田線・半蔵門線 表参道駅 徒歩7分  
都バス (渋88系統) 渋谷駅からバス4分  
青山学院前バス停下車 徒歩2分

### 定員

各分科会50名 (参加費無料)

#### ■第1分科会 10:00~12:30

**実践者から学ぼう！ 国際協力のシゴト、はじめの一步**

コーディネーター

富野 岳士氏 ((特活)国際協力NGOセンター 事務局次長)

パネリスト

山口 真司氏 (富士ゼロックス(株)プロダクションサービス営業本部マーケティング部)

門田 瑠衣子氏 (エイズ孤児支援NGO・PLAS代表理事)

笹生 健司氏 (千葉県総合企画部国際課副課長)

宇都 喬之氏 (横浜国立大学公認サークルTree of Message)

#### ■第2分科会 10:00~12:30

**「わかる日本語」による情報提供~新たな取組を紹介!**

コーディネーター

梶村 勝利氏 (東京日本語ボランティア・ネットワーク代表)

基調講演

庵 功雄氏

(一橋大学国際教育センター・言語社会研究科 准教授)

越智 慎司氏 (NHK報道局ネット報道部 専任記者)

パネリスト

薄場 郁子氏 (荒川区区民生活部文化交流推進課都市交流係長)

倉田 広氏

(練馬区区民生活事業本部地域文化部地域振興課事業推進係長)

#### ■第3分科会 13:30~16:00

**行ってみよう防災訓練、進めよう地域の取組**

コーディネーター

土井 佳彦氏

((特活)多文化共生リソースセンター東海 代表理事)

パネリスト

古川 豊光氏 (八王子国際協会)

デズモンド・T・ベル氏 (小平市在住)

スッチー・マッシモ氏 (八王子市在住)

ワークショップ

堀之内 陽子氏

((特活)はままつ子育てネットワーク 事務局)

#### ■第4分科会 13:30~16:00

**「わかる日本語」ワークショップ**

~外国人にとって、「わかる日本語」は本当にわかりやすいか

コーディネーター

中山 眞理子氏

(NPO法人 多文化子ども自立支援センター 代表理事)

ゲスト

在住外国籍住民3名

#### 【申込み方法】

東京都国際交流委員会へいずれかの方法でお申込みください。

・東京都国際交流委員会ホームページからお申込みください。

http://www.tokyo-icc.jp

・FAX: 03-5294-6540

・電話: 03-5294-6542 (平日のみ9:00~17:30)

#### 【締切】

2013年2月20日(水)

・定員になり次第、締切とさせていただきます。

・定員を超え、お申込みをお受けできない場合はご連絡します。

#### 【お問い合わせ先】

東京都国際交流委員会

〒101-0021 千代田区外神田1-1-5 昌平橋ビル3階

TEL: 03-5294-6542 FAX: 03-5294-6540

Mail: tm-chiikikokusaika@tokyo-icc.jp

【主催】東京都国際交流委員会 国際交流・協力TOKYO連絡会

【共催】東京都 日本国際連合協会東京都本部

【後援】JICA地球ひろば 財団法人自治体国際化協会

## 第280号

## 自治体国際化フォーラム2月号

平成25年1月15日発行

編集人 藤田 穰

発行所 財団法人自治体国際化協会

〒102-0083

東京都千代田区麴町1-7

相互半蔵門ビル

Tel. (03) 5213-1722

Fax. (03) 5213-1741

Homepage <http://www.clair.or.jp/>

E-mail [forum@clair.or.jp](mailto:forum@clair.or.jp)

編集協力・印刷 エイト印刷株式会社

本書からの無断複写・転載を禁じます。

## 編集後記

今回の特集は「CIR (国際交流員) の多様な活用事例の紹介」でした。翻訳、海外販路拡大から外国人向けラジオのパーソナリティーに至るまで、多彩な活躍ぶりをお伝えできたかと思えます。

ところで、「私とCIR」という視点で申し上げますと、前の職場でお昼休みの外国語学習サークルをきっかけに知り合ったCIRの姿は今でも脳裏に焼き付いています。彼らの業務への熱意、日本語をはじめとしたコミュニケーション力、あるいは多文化共生を実践してきた人生そのものに、大きな刺激を受けたものです。今年度から自治体の国際化に係る業務を行っているのも彼らの存在があってこそだと感じています。

願わくはCIRはじめJET参加者それぞれが望むキャリアを構築されんことを! 今後の各分野での活躍にも期待しています。

(T.N)